

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	加賀建設株式会社
所在地	石川県金沢市金石西1丁目2番10号
代表者役職・氏名	鶴山 雄一
担当者連絡先	電話：076-267-1161（担当：木戸） メール：office@kagaken.co.jp
ウェブサイトURL	https://kagaken.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は1943年に創業した総合建設業者であり、石川県の港湾、海岸を中心とした海上土木工事、浚渫工事、その他一般土木工事の請負業を実施している。

当社が主力事業としている海上土木分野では、当社技能者が操船する起重機船を2船団所有しており、海象が良い5月～8月の期間は防波堤等の港外工事や海岸工事に従事する一方、冬期波浪により外洋で作業を行うことができない9月～4月の期間は、堀割り港である金沢港の浚渫工事に従事する等、国土強靭化事業や地域のインフラ整備事業に年間を通して携わっている。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	事業活動が環境に及ぼす影響をマネジメントするとともに、誰もが挑戦できる環境づくりに取り組むことで、企業の付加価値を高める	企業の付加価値（人件費+租税公課+営業利益） 【現状】243百万円（2019年） 【目標】260百万円
□環境 ✓社会 □経済	合理化、生産性向上を図るとともに、ウェルビーイング経営を通じて、時間外労働時間の抑制・解消を図る。	月平均時間外労働時間 【現状】5.8時間/月（年間最大値） 【目標】解消を目指す
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。 ・ハラスメント相談窓口を部署毎に設置し、相談員に定期的研修を実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・合理化、生産性向上を図るとともに、毎週水曜日をノーワークデーとし、残業が必要な場合には事前申請することを徹底することで時間外労働を管理。								8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・月一回、経営者・社員参加の労働安全衛生委員会を開催し、安全意識の徹底、最新情報を周知している。 ・建災防など外部講師による安全講習会を適宜開催。		3						8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・3か月毎に社員面談を実施。業務目標の確認と併せて悩みごとなどを聞きアドバイスするよう体制を組んでいる。		3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・時差出勤、テレワーク制度の他、子育て社員の定着を図るため時短勤務制度、弊社独自の子供行事特別休暇制度を導入。 ・くるみん、えるぼし、いしかわ男女共同参画推進宣言企業認定済。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・定期的に外部講師による管理者研修、社員研修実施。 ・新卒者の3年間教育プログラム「一人立ちプロジェクト」を実施。			4	5.5			8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営優良法人2022、いしかわ健康経営宣言企業認定済。 ・週休2日制、多様な勤務形態導入のほか、バランスボーナス、スマージー提供など特徴あるウェルビーイング経営推進。		3					8								
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・ISO14001取得済。 ・建設現場廃棄物の適正処理、オフィスにおける省資源化等を環境マネジメントシステムに基づき実施。										11.6 12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ISO14001取得済。 ・省エネ診断、オフィス温度管理、電気自動車導入により省エネを実施。						7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	金沢市による地球温暖化防止実行計画の企業認定済。					7.2 7.3					12.4 13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・工事着手前調査により、有害物質等の把握、取扱い方法、撤去方法など処理方法をあらかじめ決定し、現場作業に当たっている。			3.9			6.3				11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・「環境問題への積極的な対応」を経営方針に明記。 ・ISO14001取得済。			3.9			6	7			12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している														12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ZEB、ZEHの建築事業に取り組むほか、ZEB対応自社オフィスを建築中。(2023完成)						7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001所得済。 ・Microsoft365を軸としてTeamsなど各ツールを社員全員が導入・活用。Web会議、情報共有が容易となることで、意思決定・リアクションの迅速化により顧客サービス向上。									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・建設現場の生産性向上に向け、i-construction推進。 (社内でICT講習会を定期的に実施。海上工事用ICT機器の導入・活用)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に金沢港海岸の清掃活動を社員参加で実施中。 ・地元清掃活動において、ボランティアで重機(タイヤショベル)出動。			4								11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明文化、公表している。 ・年一回、全社員参加でSDGs推進・成長戦略会議を開催。各部署の取組状況を報告。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・法令遵守(コンプライアンス)の重要性を経営方針として明記。全社員に向けて発信。法令に抵触する可能性がある場合は、即座に上司に相談するよう指導。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・工事に当たっては、近隣住民、漁業関係者等に工事前説明を徹底し、苦情等があれば原因を究明し、相手に納得いただけるよう実施方法を工夫している。															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・各工事現場にて安全衛生に関するリスクマネジメントを実施。危険予知訓練など事故災害防止に努めている。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・BCP計画を策定済。隨時更新している。(大規模地震・風水害・火事・サイバーテロ行為・重大感染症(新型インフルエンザ等))									9	11	13.1					16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

c (様式第4号)

令和 5年 8月31日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	石川県金沢市金石西1丁目2番10号
名 称：	加賀建設株式会社
代 表 者：	鶴山 雄一
登録年月日：	令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	事業活動が環境に及ぼす影響をマネジメントするとともに、誰もが挑戦できる環境づくりに取り組むことで、企業の付加価値を高める	企業の付加価値（人件費+租税公課+営業利益） 【現状】243百万円（2019年） 【目標】260百万円	263百万円（2022年）
□環境 ✓社会 □経済	合理化、生産性向上を図るとともに、ウェルビーイング経営を通じて、時間外労働時間の抑制・解消を図る。	月平均時間外労働時間 【現状】5.8時間/月(年間最大値) 【目標】解消を目指す	6.7時間/月（2022年9月） ※海上工事を完了させるため ・新社屋建築により就労環境を大きく改善。

加賀建設(株)新社屋



「会社に来たくなる社屋」がコンセプトで北陸初となる木造ZEB基準の省エネルギー性能の建築物

(様式第4号)

令和6年8月23日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 石川県金沢市金石西1丁目2番10号
名 称： 加賀建設株式会社
代 表 者： 鶴山 雄一
登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	事業活動が環境に及ぼす影響をマネジメントするとともに、誰もが挑戦できる環境づくりに取り組むことで、企業の付加価値を高める	企業の付加価値（人件費+租税公課+営業利益） 【現状】243百万円（2019年） 【目標】260百万円	344百万円（2023年）
□環境 ✓社会 □経済	合理化、生産性向上を図るとともに、ウェルビーイング経営を通じて、時間外労働時間の抑制・解消を図る。	月平均時間外労働時間 【現状】10時間/月（年間平均） 【目標】解消を目指す	4.7時間／月平均（2023年）
□環境 □社会 □経済			

(様式第4号)

令和7年8月25日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 石川県金沢市金石西1丁目2番10号
名 称： 加賀建設株式会社
代 表 者： 鶴山 雄一
登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	事業活動が環境に及ぼす影響をマネジメントするとともに、誰もが挑戦できる環境づくりに取り組むことで、企業の付加価値を高める	企業の付加価値（人件費+租税公課+営業利益） 【現状】243百万円（2019年） 【目標】260百万円	499百万円（2024年）
□環境 ✓社会 □経済	合理化、生産性向上を図るとともに、ウェルビーイング経営を通じて、時間外労働時間の抑制・解消を図る。	月平均時間外労働時間 【現状】10時間/月（年間平均） 【目標】解消を目指す	5時間／月平均（2024年）
□環境 □社会 □経済			